資料6

「津波被害軽減へのICTの活用　～産学官連携によるチャレンジ～」の開催について

１　目的

東京大学・東北大学・富士通株式会社と本市は、東日本大震災以降、充実化が進む地震津波観測と、最新のＩＣＴを最大限活用し、今後の津波防災対策の向上、津波に対する強靭な地域社会の実現に向け、地域特性を考慮した新しい津波対策を検討する共同プロジェクトを平成２９年度から開始しました。

この度、キックオフイベントとして、研究に参加している、我が国でも著名な津波や地震の専門家が、東日本大震災での津波の教訓や防災対策等を講演する「津波被害軽減へのＩＣＴの活用～産学官連携によるチャレンジ～」を開催します。

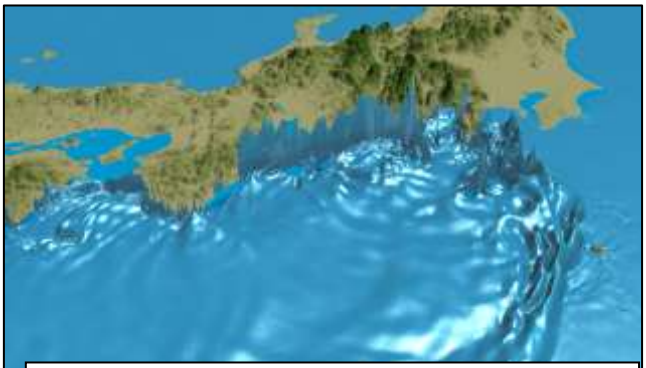
２　日時　平成３０年３月１５日（木）１５時１５分～１７時２５分

３　場所　ラゾーナ川崎プラザ５階　ラゾーナ川崎プラザソル（川崎市幸区堀川町７２－１）

４　共催

（１）　国立大学法人東北大学災害科学国際研究所
（２）　国立大学法人東京大学地震研究所
（３）　富士通株式会社
（４）　川崎市

５　後援　内閣府政策統括官（防災担当）・気象庁


南海トラフ巨大地震の津波シミュレーション

６ 当日の次第

（１）　挨拶
・川崎市長　福田紀彦　　・富士通株式会社　執行役員常務　北岡俊治
（２）　基調講演①　「警報の鉄則 - 人命を救うために - 」
前・気象庁長官（富士通研究所顧問/東北大学特任教授）西出則武
（３）　基調講演②　「東日本大震災等から学ぶ今後の防災・減災」
東北大学災害科学国際研究所　所長　今村文彦
（４）　講演　「川崎市の津波防災とプロジェクトへの期待」
川崎市総務企画局危機管理室長　高橋　実
（５）　講演「川崎市におけるＩＣＴ活用による津波被害災害軽減に向けた産学官連携プロジェクト」
東京大学地震研究所　教授　古村孝志
（６）　講演　「ＡＩ（人工知能）による防災分野への取り組み」
株式会社富士通研究所　取締役　鈴木祥治

７ 参加者等　１５０名（津波防災に係わる市内外の事業所・各種団体関係者等）

担当　川崎市総務企画局危機管理室 震災・臨海部対策
電話：044-200-2478　FAX：044-200-3972
E-mail：17kiki@city.kawasaki.jp